



おひさま組、あおぞら組(4歳児・5歳児クラス)

とうきょうすくわくプログラムを行いました!

「とうきょうすくわくプログラム」ってなに?

幼稚園や保育所において、子どもたちが好奇心や興味を持って、わくわくしながら遊び、学べるよう応援する取り組みです。取り組みを通じて、子どもたちの自己肯定感や思いやりといった豊かな心の育ちをサポートしていきます。



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

今年度は「食育」の分野で取り組みました。芋掘りをきっかけに地面の中にできる食べ物に興味をもつようになり、園で育てたサツマイモの収穫、観察をして様々な視点から疑問が出たのでテーマは【さつまいも】になりました!

●さつまいも観察



- ・中が白い
- ・お芋の蜜の匂いがする
- ・土の匂いがした
- ・ヒゲが生えている
- ・食べてみたい
- ・ベタベタするところがある

芋って地面にできるの?どうやって育つの?どうやったら食べられるの?など、お友達と一緒にたくさん考え、グループに分かれてさつまいもを観察してみてたくさんの意見が出ました!

→意見が一番多かった『食べてみたい』を実践してみることに!

●スイートポテト作り 12月



グループごとに自分たちで考えて、さつまいもを潰したりこねてみたり、シロップを好きに加えたりしながら一人ひとりがオリジナルのスイートポテトを作りました!

●さつまいもパン作り 1月



あらかじめさつまいもが練りこまれた生地と角切りのさつまいもを用意して、伸ばしたり、切ったり、混ぜたりしながら子どもたちが好きな行程で、自由に形を作りパンを焼き上げました!

●でんぷん作り 2月



さつまいもやツタを触っているとベタベタすることに気づいた子どもたち。今度はさつまいもからでんぷんを取り出して、お手製の『のり』を作ってみることに!製作でもお手製のりを使ってみました。

●種芋観察 3月



さつまいもを水に浸けていたら芽が出てきました!みんなで観察して、様々な意見や感想が飛び交いました。また来年度さつまいも掘りができるようにみんなで植えようと思います。

子どもたちが些細なことから興味を持って始まった、テーマ『さつまいも』でしたが、身近な食材への疑問を探求していくことで、子どもたちの食全般に対する興味・関心を育む良い活動になりました。